

△産業宣教 ヨセフの産業宣教 25 時(創 41:38)	△レムナント伝道学 レムナントヨセフの 25 時(創 37:1-11)	△核心 荒野 25 時(申 6:4-9)	△散らされた弟子たち 絶対宣教 25 時(出 2:1-10)
<p>ヨセフは何もない状態で行ったが、25 時を持っていて、創 41:38 を味わっていた。産業人が必ず持っているなければならない力だ。</p> <p>□序論_今日 25 時</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 始まり、最後、永遠なことと考えてしなければならない。 2. 当然・必然・絶対-常に「当然」を先に見なければならない。それでこそ必然、絶対が見える。 3. ただ・唯一性・再創造(終わり)-今、見つけなければならないことが、ただ、だ。確認できれば待つことができる。唯一性。私がこの地にいないと考えるとき、何を残すことをいつも考えて再創造に挑戦するのだ。 <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過去-最高の土台にすれば CVDIP 実際として見える。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 家系福音化 2) 国福音化 3) 世界福音化 △これくらい過去が重要だ。過去で正確な答え(CVDIP)を見出すのだ。 2. 苦しみ-ターニングポイントにすれば All CVDIPとなる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 創 39:1-6 奴隷に行ったこと 2) 創 40:1-23 監獄に行ったこと 3) 創 41:1-38 王に会うようになったこと、全部 CVDIP だ。 △契約ひとつをよく握ることが、このように重要だ。 3. 未来-OURS(ただ・唯一性・再創造のシステム)作られれば All Change CVDIPとなる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 創 45:1-5 兄たちが私を売ったのではなく、神様が私を先に送られた。 2) 創 50:20 あなた方は悪を行ったが、神様は私に良いこととして返された。兄と兄のすべての子どもの責任を負う 3) 創 50:25 カナンの地に必ず行くようになるので、私の遺体を持って行ってほしい。 <p>□結論</p> <p>237と私たちの産業が合わなければならない。いやしは 237 に与えることができる一番の答え 次世代、人材を育てることがもっと大きい答え 祈り 24 → 生命線(呼吸祈り) - 3・9・3 → 25 すべてを祈りで味わって解くのだ(24)。すると、ある日 25 の答えが来る。私たちには生命線が二つある。私の霊を生かす祈りと、私のいのちを生かす呼吸だ。これでいつも 3・9・3 を受け入れて伝達するのが祈りだ。</p> <p>△産業人は、ただ世界福音化と教会をどのように生かすかを置いてずっと祈るように願う。神殿建築はすべてを回復する機会だ。教会堂がない教会は、全部この契約を握らなければならない。思ったより簡単などころにあるだろう。</p>	<p>□序論_25 基準(現実)</p> <p>25 時していれば、重要な三つが先に私に来る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 両親、教師、指導者が見ることができなかったことを見るようになる。 2. 現場の人が見ることができなかったことを見るようになる。それゆえリーダーになるしかない。さらに、王が見ることができなかったことを見た。 3. 今日の中で未来を見るのだ。 <p>△この 25 の基準は現実の中にある。</p> <p>□本論_今日</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼い時 <ol style="list-style-type: none"> 1) 苦しみ(創 37:1-11) 2) 奴隷 3) 監獄 △(総理)-外から見るヨセフは苦しみ、奴隷、監獄だ。ところで、ここで 25 を味わった。ここで総理の土台が作られ始めた。 2. 青年 <ol style="list-style-type: none"> 1) 王の前に立って 25 の答えを与えるように 2) 世界を置いて答えを与えるように 3) イスラエル全体にすべての答えがみな伝えられた。 3. 老年 <ol style="list-style-type: none"> 1) 鍵(Key)は次世代「私がお兄さんのすべての子どもを育てる」 2) カナンの地の話をした。そのとおり、みな成就した。 <p>□結論 サミット 25 時刻表</p> <p>サミット 25 の時刻表。失敗してもかまわない。レムナントはサミット 25 の時刻表を作りなさい。そして祈りの手帳に記録しなさい。エジソンはそのような文章を約 3 千冊残した。このとき、レムナントの学業は完全に方向が変わる。全部資産になる。永遠の中で、今日、未来の中で今日だ。周囲の苦しみはすべて答えだ。</p>	<p>イスラエル民族を 40 年間、荒野に置かれた理由は、荒野で必ず備えなければならないものがあるためだ。</p> <p>□序論_モーセの 120 年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学問(40 年王宮)-これでは世界福音化できない。 2. ミデヤン(40 年)-80 歳になったとき、ほとんどあきらめ状態 3. 絶対使命が残っているので、見つけなければならない。 <p>□本論_五つのことを伝達して刻印・根・体質させることが絶対使命</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 以前の契約(創世記)-本来のことをはやく回復、伝達 <ol style="list-style-type: none"> 1) 三つの事件と解決するメッセージ 創 3:15 女の子孫が蛇の頭を踏み砕く。 創 6:14 箱舟の中に入って来れば誰でも生きる。 2) 創 12:1-3 カルデヤのウルを離れなさい。 3) 創 26:10-24 福音をはっきりと悟ったイサクが世界福音化するように 100 倍に祝福された。 4) 創 32:23-32 あなたの名をヤコブとせずにイスラエルとしなさい。 5) 創 37:1-11 この契約を握って世界福音化したヨセフ 2. 福音契約(出エジプト記)-暗やみから解放 <ol style="list-style-type: none"> 1) 出 3:18 血の契約、出 5:1-12:46 10 の奇跡で出てくるようになる。 2) 出 25:8 (幕屋中心に、この契約を続いて味わった人々) 3) 三つの祭り 3. 礼拝契約(レビ記)-御座の力を味わう祈り回復。これが刻印・根・体質になるスケジュールを組みなさい。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 血-キリストの血で、すべてのいのちを回復させる礼拝が続いた。 2) いけにえ(礼拝)-礼拝と献金を一番よくするイスラエルが知恵と経済を掌握 3) レビ人-受ける祝福が別にある。この御座の力を回復して伝達しなさい。万人祭司 4. 選民契約(民数記)-12 部族が占める土地を毎日確認して学び福音を伝えなければならないすべての場所を決めて分析しなさい。一度はみな福音を聞かせなさい。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 38 年を荒野に縛ってしまわれた神様-本当のことを回復せよと。 2) 記録-モアブの地で 3) 民 14:1-10 偵察を送って確認して来たこと 5. 征服契約-御座化(私、教会、現場、産業) <ol style="list-style-type: none"> 1) カナンに入らなければならない 2) 行かなければならない道があるから 3) 申 6:4-9 すべてを尽くして主である神様を愛しなさい。それを子どもに伝達して刻印・根・体質化させて御座化させなさい。 <p>□結論 祈り時間、みことばの流れ、私の伝道チェック</p>	<p>神様のことで必ず見つけなければならないこと-絶対宣教</p> <p>□序論_この五つの見る目があるべき</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事をしなければならぬとき -絶対計画発見 2. メッセージを伝えるとき -神様の計画である絶対契約を伝達することができる。 3. キャンプを単にするのではなく -絶対旅程を見るようになる 4. 弟子を見つつけるとき、多くの問題も生じる。 -絶対目標持って神様が願われることを知らせる 5. 復興も答えを受ければ良い -神様が与えられる絶対答え <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分からないと強制宣教(強制奴隷) -ヨセフが受けた答え 2. 強制訓練(奴隷の民) -モーセが受けた答え 3. 強制的に RT 訓練(荒野に閉じ込められた民)-ヨシュア、カレブが受けた答え <p>結局は、神様が絶対計画、絶対契約、絶対旅程、絶対目標、絶対答えを分かるようにされる。それなら、あらかじめ握れば良い。神様の計画は変わらないとあらかじめ悟れば、この契約を握って答えを受けるようになっている</p> <p>□結論 全体にどのように福音が聞けるようにすることができるだろうか。(目標は弟子を見つけること)</p>

△区域メッセージ (第 3 週) 三位一体の神様の働きと 25 の答え (使 1:8)	△聖日 1 部礼拝 世界を生かした殉教精神の理由 (使 7:54-60)	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 崩れた教会を生かす神殿 (使 8:1-8)
<p>「三位一体の神様の働きと 25 の答え」だ。三位一体の神様という単語は誰もみな知っている単語だが聖霊と聖霊の働きとは違う話だ。</p> <p>□序論_祈り</p> <p>1. みことばの流れ - いやし (祈りの序論) 2. 生活の流れ - 聖霊の満たし (祈りの本論) 3. 職業の流れ - 世界福音化 (祈りの結論)</p> <p>□本論_答え</p> <p>1. 内住 (1 コリ 3:16、御座) 三位一体の神様が聖霊で私の中に臨むことが、いやしが起こることだ。1 コリ 3:16 に、あなたがたが神の神殿で、神様の御霊があなたの中におられるとなっている。それゆえ、御座の祝福があるということは、内住の奥義だ。 1) 3・9・3 - 礼拝する中で、この働きが起こっていることを信じなければならない。 2) RT - レムナント 7 人はこれだけしたが、世界福音化の門が開いてしまった。 3) Nothing, Everything - このような人々は、何もなく始めたが、すべてを生かすようになる。ダビデは追われながらも「私は大丈夫だ」、「私は何も乏しいことがない」と言った。</p> <p>2. 導き 1) 使 13:1-4 すべての働きをするとき、ただ 5 分でも祈って、導かれることを確認しなければならない。 2) 使 16:6-10 さらに重要なのは、だめだと思えるとき。聖書には「聖霊がアジアに福音を伝えることを止められた」となっている。そのとき、神様は本当のことを準備、ターニングポイントになったのだ 3) 使 19:1-7 常にカルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上間で起こった事を体験することが先だ。これを祈りで味わえば、必ず神様の働き、世界福音化する答えが来るようになっていく。</p> <p>3. 満たし 1) 使 1:1 「具体化」 - キリストで答えが具体化になることだ。 2) 使 1:3 「事実化」 - 神の国が事実化されることだ。 3) 使 1:8 「文化化」 - 「ただ聖霊なら、地の果てまで行くようになる」文化化になるのだ。</p> <p>△いくら苦しみの中にいて、何の背景がなくても大丈夫だ。この祈りを始めなさい。答えが来始めれば、過ぎた日に私たちが答えを受けられなかったのが本当に幸いだということを知るようになる。</p> <p>□結論</p> <p>使 1:3 40 日、毎日、この時間がなければならない。 使 1:14 「ひたすら祈りに専念するのだ」それならば良い。 使 2:1-13 聖霊の満たしの働きが起こる。 使 2:17-18 未来が見える始める。 使 2:42 礼拝が生かされる。</p>	<p>□序論_歴史上、最も短く福音を伝えて、最も大きな影響を与えたステパノ</p> <p>1. 心配、恐れ、未来の心配に陥る必要がない。契約を握りなさい。 1) 1 ペテ 5:7-8 あなたがたの思い煩いを神様にゆだねなさい。思い煩うときに邪魔するサタン 2) ヨブ 3:25 心配する部分にサタンが攻撃 3) 答えが来る前に御座の世界が、大きなわざわいが来る前に暗やみの世界が先に作られる。</p> <p>2. 世界を変えたステパノが先に知っていた五つのこと 1) 霊的に無知で死んでいくの知らない指導者 2) 霊的に無知な宗教指導者 3) イスラエルが滅亡するので備えなさい。地の果てまで行きなさい。 4) オリーブ山、マルコの屋上間で御座の祝福と背景を体験したこと 5) マルコの屋上間で祈って未来を確かに知ったこと-預言、幻、夢 △暗やみとサタン、地獄の背景、のろい、わざわいは、みなさんに勝つことができない。</p> <p>3. 本文の内容 1) 人々の問題を指摘したステパノ-モーセとアモス時代に偶像を作ったこと、預言者を殺したこと、十字架に釘つけたキリストと復活 2) これが刺さって歯ぎしりしてステパノを殺したが、死んだのでなく眠りについたのだ。 3) その結果-アンテオケ教会、世界福音化に出たパウロ、全世界に広がった福音</p> <p>□本論_「眠りについた」とある理由</p> <p>1. 暗やみの勢力を砕いた殉教 (54 節) 1) レムナント 7 人 (1) ヨセフ-お兄さんが私を売ったのではなく神様が私を先に送られたのだ。神様は私に良いこととして返された。お兄さんと子どもの責任を負う。 (2) ダビデ-私はおまえがなぶった主の御名によって立ち向かう (3) 12 使徒-マルコの屋上間で体験した後に揺れた使徒は一人もいなかった (4) 問題がくれば許して助けて祈る理由は、暗やみ勢力を先に砕くためだ。</p> <p>2. 必ず勝つ霊的背景を持っている殉教者 (56 節) 1) みなさんが苦しみを受けるとき、イエス様は立ってみなさんを守られる 2) 伝道者が歩んで行くとき、危ないとき、イエス様は立って応援して力を与えてくださる。 3) イエス様が御座の右に立っておられるのを見たステパノ</p> <p>3. この後に来る結果、結論を知っていた (使 1:8) 1) レムナント 7 人が揺れないで危機に勝った理由 2) 苦しみにあったときに握った契約は、千年の答えとして現れる。 3) みなさんが祈ったこと-この地を離れた後に、もっと大きな働きが起こる (1) イエスにひざまずいたパウロ (2) 大きい患難のときに立てられたアンテオケ教会 (3) 使徒が捕えられた夜に重職者の一致協力祈り-ヘロデ王の死 △パウロを助けた神様の力と主の使いは、今でも働いている。 □結論_殉教精神は世界を変える。</p>	<p>初代教会は、本当に祈ってみたら答えが見えて、力が生まれて、多くの人を生かす座にまで行くようになった。ステパノの殉教の後、エルサレムに大きい迫害が起きた。使徒の他は、みなすべての地に散らされたが、彼らがサマリヤを攻略したのだ。ユダヤ人には衝撃だ。</p> <p>□序論_人生の重要な時刻表に参考にする-「迫害」のとき、一生の重要なことを握る時間</p> <p>1. 一生の祈りを握りなさい。 1) 光を放つ準備をした初代教会-貧しさ 2) 伝道を越えた宣教準備-無能 3) いやしが起こる-病氣 △祈れば答えが来る。避けては神様の力で確認しなければならない。私の生涯を神様の前で、どのように終えるか祈らなければならない。</p> <p>2. 奥義を持っていたこと (内容) 1) いっさいの権威であたとともに (復活メッセージ、マタ 28:18-20) 2) 御座-神の国説明 (使 1:1-8) 3) 変化の力 (人が変わったこと、使 2:13) 4) 未来の確信が与えられたこと (使 2:17-18) 5) 使 6:1-7 (重職者として任職)</p> <p>3. 時代が失ったことを取り戻すこと 1) 三つの庭 2) 資料がなければならない。 3) みなさんの足跡がなければならない。足跡に従って、人々が歩いていく。 △公演チームを準備しなければならない。</p> <p>□本論_サマリヤ (全世界に奴隷として売られて行く。混血、偶像、文化問題)</p> <p>1. 237-いやし・サミットの門を開けたこと-プラットフォームが作られた 1) 私の伝道記録 2) 私の弟子 3) 私の国が含まれていなければならない。 △これから、237 国が来て、このように祈って、このように伝道したのかと見ることができるべき。</p> <p>2. 病氣いやし-見張り台 1) キリストを伝える-しるしが現れた。 2) 悪霊が離れた。 3) 不治の病が治った。</p> <p>3. 大きい喜びがあふれた-全世界を生かすアンテナ 1) 崩れた 237 強大国の教会を生かす準備-弟子訓練だけよくさせても良い。 2) 5000 種族-来ている多民族がそこに入る使命者を見つけ出すことができる。 3) ヨーロッパ、アメリカ、韓国教会が減少している。崩れた教会を生かそう。</p> <p>□結論_生存法則 強大国の人々が生き残ったのか。少数の福音を伝えた人々が生き残ったのか。</p> <p>△レムナントは 2030-2080 時代を準備しなければならない。メディアが発展するが、どんな内容を準備しなければならないかだ。すべての信徒は、一日に三回ずつ神殿建築のためにやぐらを築きなさい。経済が難しい人、何の力もなく病氣になっている人は、さらに確かに築きなさい。神様が働かれるのを見るとき、そこから出てくるようになって、証人になる。福音の本質を見つけ出す祝福を味わう主役になるように願う。</p>